



軽防協ニュース速報（号外）

2024年1月5日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

アメリカ合衆国における水疱性口内炎の発生状況について（続報）

2023年5月24日付「軽防協ニュース速報（号外）」でお知らせいたしましたアメリカ合衆国における水疱性口内炎の発生に関して、2023年12月26日以降新たな発生は認めず、2024年1月2日にすべての施設が検疫から解放されました。

オリジナルのデータは、アメリカ合衆国農務省（USDA）が公開しているものであり、原文はホームページからアクセスできます。

https://www.aphis.usda.gov/animal_health/downloads/animal_diseases/vsv/sitrep-01-03-24.pdf

発生概要

2023年5月17日 California 州 San Diego 郡において、水疱性口内炎の最初の発生を認めました。その後、2023年6月15日に Texas 州 Maverick 郡において、2023年7月27日に Nevada 州 White Pine 郡において発生を認めました。

発生以来、California 州、Texas 州、Nevada 州の3州317施設で感染が確認されました。California 州では19郡314施設、Texas 州では2郡2施設、Nevada 州では1郡1施設で感染が確認されました。

全ての感染施設は、Nevada 州では2023年8月9日に、Texas 州では2023年8月22日、California 州では2024年1月2日に検疫から解放されました。

今回の発生で確認された症例は、すべて New Jersey 型ウイルスでした。

※陽性が確認された施設および疑いのある施設は、最後の発生から少なくとも14日間の隔離が実施される。

水疱性口内炎とは？

水疱性口内炎はウシ、ブタなどの偶蹄類の動物および馬の舌、口腔や鼻腔の粘膜、乳頭、蹄部やそれらの周囲の皮膚に水疱や丘疹ついで糜爛や潰瘍を形成する伝染病です。本ウイルスには New Jersey 型と Indiana 型の主要な2つの血清型があります。偶蹄類家畜では口蹄疫との類症鑑別が非常に重要な疾病であり、家畜伝染病に指定されています。感染経路は、ブユやサシチョウバエなどの吸血昆虫による水平感染であり、吸血昆虫との接触を可能な限り限定する措置をとることが重要とされています。稀ですがヒトに感染すると、インフルエンザ様の症状を起こすことがあります。本病は南北アメリカに限局して発生が認められていますが、過去には感染した輸入馬を原因とする発生がフランスでも認められたことがあります。日本での発生報告はありません。

軽種馬防疫協議会